

- 2面 4月から区役所の組織が変わります(子ども家庭部・教育委員会)
- 2面 協働推進基金からNPOの活動に助成
- 3面 3月26日(土)・4月2日(土) 本庁舎の一部の窓口を開きます
- 3面 駐輪場の1日利用・時間利用
- 6面 小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン 接種の一時的見合わせ



しんじゅくコール  
☎ (3209) 9999  
(午前8時～午後10時、1/1～3を除く毎日)

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)  
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111  
ホームページ ☎ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>  
携帯電話版 ☎ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード

# 乳幼児から高齢者まで全ての世代が集う場に 新宿ここ・から広場 オープン



## 子ども総合センター

### ★区内で初めての総合的な子育て支援施設

子ども家庭支援センター・児童館機能に加え、子どもの発達に関する相談や療育支援、子育て相談、一時保育、学童クラブ事業など、障害のあるお子さんへの支援を含め「子育て」を総合的に支援し、子どもに関わる施策を一体的に実施します。

### ★子育て支援施設の総合調整

区内の子ども家庭支援センター・児童館・学童クラブの総合調整を行います。

#### 子どもと家庭の相談

- ▶子育て相談
- ▶サービス相談
- ▶施設利用相談 ほか

#### 障害児への支援

- ▶発達相談
- ▶児童デイサービス (専門的な訓練等)
- ▶障害児一時保育
- ▶在宅児等の訪問支援
- ▶障害児タイムケア (放課後活動の場) ほか

#### 子ども総合センター

「子育てしやすい」と  
実感できるまちを  
目指して

#### 子どもの居場所づくり

- ▶乳幼児親子のスペース
- ▶ひろば型一時保育
- ▶学童クラブ
- ▶児童コーナー (中高生 談話室・音楽室等) ほか

#### 虐待防止への対応

- ▶虐待相談
- ▶調査・安全確認
- ▶子どもや保護者への支援
- ▶児童相談センターとの連携 ほか

#### 総合調整

子ども家庭支援センター・児童館・学童クラブ

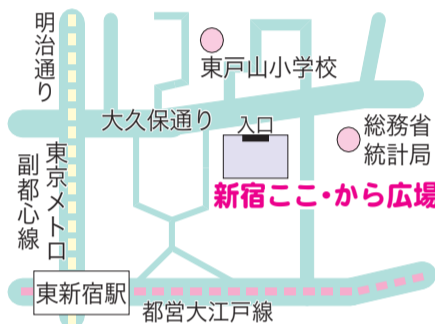
乳幼児から高齢者まで、全ての世代が集う場「新宿ここ・から広場」(新宿7-3-29、旧東戸山中学校)が、4月1日(金)、オープンします。

子育てや地域での就労を総合的に支援するほか、高齢者福祉施設もあります。詳しい内容と問い合わせ先は、8面でご案内しています。

## 新宿ここ・から広場とは

「施設に集まるすべての人の心(こころ)と体(からだ)が元気になってほしい」「この場所(ここ)から成長し、仲間づくりや自己実現等をスタートしてほしい」との願いが込められています。

敷地全体の愛称を公募し、選定委員会で「新宿ここ・から広場」に決定しました。



【所在地】新宿7-3-29  
(東京メトロ副都心線・都営大江戸線「東新宿駅」徒歩7分)

【新宿ここ・から広場についての問合せ】  
子どもサービス課事業係(本庁舎2階)  
☎ (5273) 4544へ。  
※4月1日(金)からは子ども総合センター  
☎ (3232) 0673へ。

## しごと棟

障害者等の就労支援、勤労者の福利厚生を担う勤労者・仕事支援センターと、高齢者の就労支援を担うシルバー人材センターを移転・拡充し、障害者・高齢者・若年者等の就労をさらに支援・促進します。

## 農業体験の場

新宿中学校から移転します。子どもの健全育成を目的に、新宿区青少年活動推進委員会が運営します。

## 多目的運動広場

人工芝のグラウンドを整備しました。平日は地域の憩いの場・子どもの遊び場として開放します。土・日曜日、祝日はスポーツ団体に開放します。

## 高齢者福祉施設

介護が必要な高齢者の方を対象とした地域密着型サービスの複合施設です。22年5月1日に先行して開設しました。

区長 **中山 弘子**  
なかやま ひろこ

新宿区は、すべての国の核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願って、昭和61年(1986年)3月15日、平和都市宣言を行いました。この年は、国連が提唱する国際平和年でもあり、また、それから25年の節目を迎え、今日5日、区では「平和のつどい」を開催し、女優の吉永小百合さんのご協力をいただき、原爆詩の朗読や吉永さんが出演された映画「母へえ」を上映しました。▼終戦からすでに65年余りが過ぎ、戦争を直接体験した方たちも少なくなりました。こうした中、平和が私たちの暮らしの基本であり、かけがえのない大切なものであることを皆で実感したいと思っております。▼先月14日、区は原町二丁目の幸國寺の推定樹齢500年といわれるイチヨウを、景観法に基づく都内初の景観重要樹木に指定しました。この地が加藤清正公の下屋敷の一つであることから、清正公お手植えのイチヨウとい伝えられており、毎年秋には見事に色付き、銀杏もたわわに実り、地域の皆さんに親しまれています。▼このイチヨウは、太平洋戦争のときには戦災に遭いながらも近隣家屋への延焼を防ぎ、周辺に住む方を守ったとのこと。イチヨウは長寿であり、少なくとも千年以上の寿命を有するといわれています。私たちが幸せに暮らしていくための基本である平和を、これから地域のシンボルであるイチヨウの姿とともに、未永く守り伝えていきたいと考えています。